

社会会計システム・オープン・コンソーシアムの発足について

平成19年5月24日

内閣府経済社会総合研究所

1. 概要

内閣府経済社会総合研究所は平成19年5月29日、社会会計システム・オープン・コンソーシアムを設置する。英文名称は”Systems of Social Accounting Consortium”(略称：SSAC)。東京工業大学エージェントベース社会システム科学研究センターと共催するシンポジウム「行政情報システムでの社会会計測定の多元的構成と行政サービス利用」において、発足式を行う。

2. 目的

オープン・コンソーシアムでは、国民経済計算を含めた社会会計に関するシステムについて設計やプログラムについて自由な議論を行い、社会会計システムに関するオープン・ソース・ソフトウェアの国際的な規格化と国内外への普及をめざす。国内では、47都道府県や政令指定都市の作成する県民経済計算を、海外では世界各国で作成されているSNA(System of National Accounts)の作成への利用をめざす。

国民経済計算(SNA)の理論については、国連統計委員会やOECDで活発な議論が行われているが、それを実現するシステムをオープン・ソース・ソフトウェアとして提供する試みははじめてのもの。今回の構想が実現すれば、将来的には、理論的な議論とあわせてシステムの開発が行われ、各国の統計に基づくデータをすぐに比較できるようになるため、議論の活性化が期待できる。

各国統計局の情報システム利用に関しては、米国センサス局の提供する季節調整プログラムX-12-ARIMAが広く利用されているケースがある。また、北欧諸国では統計局間でソフトウェアの相互利用が行われている。

3. 構成

発足から平成22年3月までの期間は、経済社会総合研究所の社会会計システム・オープン・コンソーシアム委員会を母体とし、研究者や企業などのオープンな参加を求める。

電子政府プロジェクトの一貫として行われる、国民経済計算推計システムの改善に関する作業について、設計情報やシステム開発の成果物がメンバーに提供される予定。メンバーはこれらの成果物について自由に議論し、ソース・コードのコーディングの改善などを提案できる。これらの議論の成果はオープン・ソース・ソフトウェアとして、一般的なライセンスの元に利用できることになる。

平成22年4月以降は、経済社会総合研究所の手を離れ、独立のオープン・コンソーシアムとして活動を継続することを想定している。

4. 参加申し込み

郵便番号 100-8970

千代田区霞が関3-1-1

内閣府経済社会総合研究所 国民経済計算部 企画調査課内

社会会計システム・オープン・コンソーシアム委員会事務局 宛

別紙申込書を郵送。

(別紙)

入 会 申 込 書

社会会計システム・オープン・コンソーシアム 御中

年 月 日

社会会計システム・オープン・コンソーシアムの趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

組織名：

住 所：

電 話：

FAX.No：

役職名：

氏 名： (印)

電子メール：

以 上